

令和3年1月18日

三次市地域振興部定住対策・暮らし支援課

アメリカ合衆国核実験への抗議文送付

三次市は、アメリカ合衆国が令和2年11月に行った臨界前核実験に対して、別紙の抗議文をアメリカ合衆国および駐日アメリカ合衆国大使館に送付しました。

1 送付日 令和3年1月18日（月）

2 送付先 アメリカ合衆国大統領
ドナルド・トランプ 閣下

駐日アメリカ合衆国大使館
特命全権大使 ジョセフ・M・ヤング臨時代理大使 閣下

3 添付資料 抗議文

本件に関するお問い合わせ先



三次市地域振興部定住対策・暮らし支援課 共生社会推進係
(担当/笹岡)

電話番号:0824-62-6242 FAX:0824-62-6235

E-mail: teijyu@city.miyoshi.hiroshima.jp

〒728-0013 広島県三次市十日市中二丁目8番1号

抗 議 文

アメリカ合衆国大統領
ドナルド・トランプ 閣下

貴国が昨年11月に臨界前核実験を実施したという報に接し、強い憤りと悲しみを覚えます。

核実験は、いかなる理由があろうとも断じて許すことができません。核兵器廃絶を願う国際世論を無視し、人類史上最初の被爆地であるヒロシマの心を踏みにじるものであり、三次市民を代表して貴国の核実験に厳重に抗議します。

今後一切の核実験を中止するとともに、核兵器のない世界の実現に向け、全力を挙げて取り組まれるよう強く求めます。

令和3（2021）年1月18日

日本国広島県三次市長 福岡誠志

抗 議 文

駐日アメリカ合衆国大使館

ジョセフ・M・ヤング臨時代理大使 閣下

貴国が昨年11月に臨界前核実験を実施したという報に接し、強い憤りと悲しみを覚えます。

核実験は、いかなる理由があろうとも断じて許すことができません。核兵器廃絶を願う国際世論を無視し、人類史上最初の被爆地であるヒロシマの心を踏みにじるものであり、三次市民を代表して貴国の核実験に厳重に抗議します。

今後一切の核実験を中止するとともに、核兵器のない世界の実現に向け、全力を挙げて取り組まれるよう強く求めます。

令和3（2021）年1月18日

日本国広島県三次市長 福岡誠志